

小松島市 議会だより

Seventeen 112号



クイズ

下のモニュメントのある公園はどこでしょう。
3つの中から選んで下さい

- ① ステーションパーク
- ② しおかぜ公園
- ③ たぬき広場



応募資格
市内在住の市民の方、年齢制限はありません。
※答えを書いてはがきに住所・氏名・年齢を記入
抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!
(当選者の発表は賞品の発送を以てかえさせていただきます。)

あて先
〒773-8501
小松島市横須町1番1号 小松島市議会議務局 宛
(締切日2月28日消印有効)

前回の答え ② 30億円

ゆだてしんじ

湯立神事

てんおうしゃ

田野町 天王社

田野町にある天王社で1月15日、湯立神事があった。神前で正月のしめ飾り等を燃やして沸かした湯に巫女が両手に持ったササを浸して勢いよくふりまいた。この湯を浴びると病気や災難に遭わないとされる行事である。

目次

| | | | |
|---------------|-----------|-----------|----------|
| 常任委員会報告(12月) | ----- 2~3 | 賛否表 | ----- 10 |
| 一般質問(12月定例会議) | ----- 4~9 | 市議会よりおしらせ | ---- 12 |

常任委員会報告

総務常任委員会

安平 剛之 委員長

条例案7件を可決

本委員会に付託された議案第87号～第93号までの7件を審議した。活発な議論の結果、いずれも原案のとおり可決した。なお、付託された議案は議員の賛否表（10頁）のとおりである。

吉見 失った書類は再現できるのか。

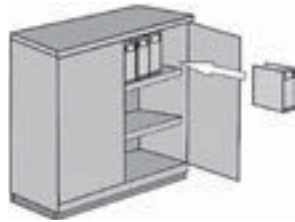
答 県へ再交付していたように努めている。

吉見 課長より上の処分はないのか。

答 当時の担当主事、部長とも退職しており、処分ができない。

池淵 紛失した書類には補助金に関係するものもあったと聞かすが、補助金返還の懸念はないのか。

答 県にも文書が残っており、本市にも県の決定通知等が残っている。また相手先にもあるので、コピーをして再現しておけば返還を求められること



とはないと認識している。

出 紛失書類の中には補助金対象者の氏名・住所・金額等の個人情報記載されていた。書類がなくなったことは情報が漏れたということではないのか。

答 個人情報が入っていた方に対して、お詫びを兼ね報告を行うよう指示した。

出 文書管理の方法を抜本的に見直す考えは。

副市長 改めて会議を開き、文書主任を中心に文書管理について徹底するよう指示する。

文教厚生常任委員会

米崎 賢治 委員長

医療費助成事業、対象年齢を12歳から15歳までに引き上げ

本委員会には、議案1件、陳情3件が付託され、審査の結果、議案については原案のとおり可決、陳情3件については後記のとおり。また、報告1件について、詳細な説明を受けた。

◎陳情第4号

年金減額のしくみ「マクロ経済スライド」の廃止を求める意見書の採択に関する陳情については、挙手採決の結果、不採択に決した。

◎陳情第5号

最低保障年金制度の実現を国に求める意見書の採択に関する陳情については、挙手採決の結果、不採択に決した。

◎報告第19号

専決処分の報告について（損害賠償額の決定）

◎陳情第3号

地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情については、挙手採決の結果、採択に決した。

◆議案に対する質疑◆

佐野 子どもの医療費助成引き上げに伴う経費について、どの程度の増大を見込んでいるのか。

答 医療費の助成として2500万円、レセプト審査に係る事務費として160万円程度を見込んでいる。



◆所管事項での質問◆

廣田 4月に開校した小松島南中学校で雨漏りがあったと聞いたが、どのような対応を行ったのか。

答 雨漏りがあったと思われる箇所について、再シーリング施工のやり替え等を実施した。

北野 高齢者免許自主返納者に対するバス運賃の割引内容は。

答 運転免許証自主返納者に対して運転経歴証明書を発行し、これを持ってバスに乗ると乗車賃が半額になるという制度がこのたび始まる。市内の主要幹線については、対応している。

産業建設常任委員会

前川 英貴 委員長

農業委員会委員、農地利用最適化推進委員定数条例を制定

本委員会に付託された議案第94号、第96号、第97号の3件を審議した。審査の結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第94号

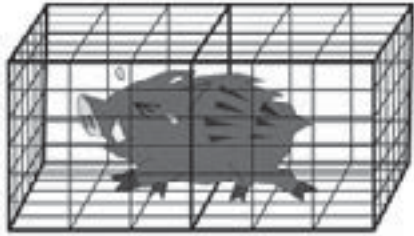
特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◎議案第96号

小松島市農業委員会の委員及び小松島市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

◎議案第97号

小松島市農業委員会の選挙による委員の定数条例等を廃止する条例について



◆所管事項での質問◆

武田

鳥獣被害の対策について、市が購入している檻17基を猟友会に貸し出して、冬場、狩猟期間にも開けるようにしてはどうかと提案したが、その後どうなったのか。

答 猟友会に貸し出す方向で協議している。

安平 市役所横の川南ポンプ場、現在、何の工事をしているのか。

答 川南2号機の主原動機の分解工事業で、部品とエンジンを分解し、点検等が必要であればパーツをかえて整備を行っている。

安平 当初から予算がついている整備ではないのか。なぜ、6月から10月までの雨季のシーズンが過ぎてから行うのか。

答 雨季には工事ができないため、雨季を外して入札をさせていただき、雨の降らない時季に工事をやっていくという判断をした。

出口 競輪事業のあり方検討会議から答申を受け、市長としての判断はどうなったのか。

市長 競輪事業の施設整備等を含むシミュレーションを出していたが、持続可能な限り継続をさせていただきたいと考えている。

予算決算常任委員会

出口 憲二郎 委員長

補正予算案6件を可決

本委員会には議案第81号、第86号が付託された。総務、文教厚生、産業建設の各部門に分かれた予算審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第81号

平成28年度小松島市一般会計補正予算(第2号)

◎議案第82号

平成28年度小松島市競輪事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第83号

平成28年度小松島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◎議案第84号

平成28年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◎議案第85号

平成28年度小松島市介護型サービス運営委員の

護保険特別会計補正予算(第2号)

◎議案第86号

平成28年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◆議案に対する質疑◆

吉見 中学校管理事業における光熱費の補正が大きい理由は。

答 施設の光熱水費の予算計上については前年度の実績からの見込みとなる。今回、南中学校がこの4月から開校し、旧の立江・坂野中学校とはかなり年代も違い、設備面について相違もあったため、従来の補正と比べ金額が多くなっている。

佐野 介護保険の地域密着型サービス運営委員の内容は。

答 地域密着型サービスとは、小松島市民の方は小松島市内の事業所で介護を受けてくださいという制度である。グループホームの運営会社等を市が指定する形になっており、市内にあるグループホームについては地域密着型サービス運営委員会に諮り、承認をいただいた上で、事業所の指定の更新や、新規指定をしている。

片田 助産施設入所者保護費の内容は。

答 非課税世帯、生活保護世帯の方などが、指定された病院(本県の場合は徳島市民病院)で出産をした場合に、出産にかかる費用を助成する制度となっている。

片田 助成費用の予算は市単独ではないのか。

市政 Q&A

一般質問・発言要旨

| 質問者名 | 件名 |
|-------|--------------------------------|
| 佐野 善作 | 地域経済振興について |
| | 高齢者介護・福祉政策について |
| 池淵 彰 | 小松島市都市計画区域について |
| | 徳島小松島港赤石地区埠頭について |
| | 中小企業振興条例制定に向けて |
| | 葬斎場に係る維持管理運営業務の指定管理者募集のあり方について |
| 前川 英貴 | 改正年金機能強化法が成立をしたことについて |
| | 障がい者への支援について |
| 吉見 勝之 | 市民参加型の都市づくりについて |
| | 性同一性障害について |
| | 食品ロスの減について |
| | 防災・減災対策について |
| 高木 幸次 | 小松島市の将来像について |
| | 本市の農業振興について |
| | 広域ごみ処理施設の整備について |
| 廣田 和三 | 小松島市第6次総合計画について |
| | 小松島市の農業振興について |
| | 小学校の再編計画について |
| 松下 大生 | 住宅リフォーム助成について |
| | 都市計画について |
| | 防災について |
| 北野 恒男 | 新公会計制度について |
| | 広域ごみ処理施設について |
| | 水道事業について |
| | スポーツの振興について |

中小企業振興基本条例

制定に向けた取り組みは

みらい政策クラブ 佐野 善作 議員

答
3月定例会議で、議会への
条例案上程を目標としている



線引き制度を廃止し、新たな

まちづくりを行わないのか

創明会 池淵 彰 議員

答
現行制度のまま、線引き
制度の存続は必要である



佐野 条例制定への取り組み状況は。

産業振興課長 庁内に検討会議を設置し、10月に事業所を対象に商工会議所の協力を得ながらアンケート調査を実施した。11月には、事業所に訪問してご意見を伺った。12月5日から28日までパブリックコメントを実施中である。年明けには、再度検討会議を開催し、検討を加える。

佐野 当事者の中小企業者や住民、有識者を交えた策定委員会をつくるべきではなかったか。

産業振興課長 まずは早期の条例制定を優先し、事業者や市民に市の姿勢をお示ししたかった。

佐野 中小企業振興に関する市長の考えは。

市長 中小企業振興は市民生活の向上と地域経済の活性化など、地域の発展に重要と考えており、地域全体で振興に向けた施策に取り組んでいく。

高齢者介護・福祉政策について

佐野 介護保険法改正の背景は。

介護福祉課長 団塊の世代が75歳以上になって、住みなれた地域で自分らしく暮らし続けることができないよう、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいの各サービスが一体的、包括的に提供する地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域における支え合いの仕組みづくりを推進するためである。

佐野 新しい総合事業とはどのようなものか。

介護福祉課長 要支援1及び要支援2に該当する高齢者に対する訪問介護と通所介護が地域支援事業に、平成29年4月に移行される。

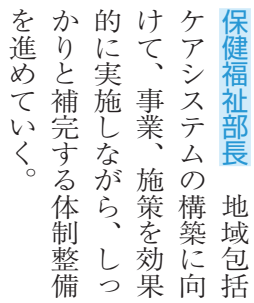
佐野 サービスの移行は可能か。

介護福祉課長 まずは原則として可能な範囲で現行のシステムを踏襲し、

混乱を回避する。生活援助のサービスについては、先進自治体の取り組み状況も研究しながら平成29年度以降において事業内容の検討を進める。

佐野 高齢者支援について市がリーダーとなって連絡協議会をつくってはどうか。

保健福祉部長 地域包括ケアシステムの構築に向けて、事業、施策を効果的に実施しながら、しっかりと補完する体制整備を進めていく。



池淵 市長は市議会議員であった平成24年3月、都市計画の線引き廃止を

賛同されていた。それから約4年半が過ぎ、その方向性を決めるべきときに来ているのではない

か。先の9月定例会議で質問した際、平成28年12月の時点で判断を

したいということであったが、今期12月定例会議における市長の考えとして、今の都市計画の中で

進めるのか、新たな方向性で線引きを廃止したま

ちづくりをしていくのか、どちらを選択されるのか。

市長 現時点において、線引き制度は都市基盤を法律的に整備し、計画的に市街地を形成した上で都市構造をある程度コントロールできるものであ

ることから、線引き制度の存続は必要であると考え

える。
池淵 議員から市長として行政の立場となり、考えが変わった理由は何

か。
市長 線引き制度を初めとする都市計画のあり方

については、その確な機能を果たせるものへの

再構築を図るべきとの考えは持っている。今回の

区域マスタープラン見直しにおいては、線引き制

度を継続することで土地利用の拡散の抑制、道路・

下水道等の都市インフラ維持更新の効率化や重点

化、公共施設の有効活用、福祉サービスの効率的な

提供など、財政負担の軽減等に資することになると考

えている。

葬斎場の指定管理者募集のあり方について

池淵 選定基準の選定方法の中に、応募する

グループが1者の場合であっても、資格要件を満たしている場合は、この

プロポーザルを実施するとある。1者では、競争性・公平性が働かないと



建設中の葬斎場

定は、公募という形をとっており、競争の担保という意味では、そもそも誰もが応募する機会を確保、提供をしている。結果として応募が1者であったとしても、選定に参加する機会を設けるため、公募の時点で競争性は十分担保できているものと考えている。

改正年金機能強化法の 成立で市としての対応は

新生クラブ 前川 英貴 議員

答 広報誌やホームページ等を
活用し、周知を図る



前川 法律の成立により、国民年金等の受給資格がこれまでの25年から10年に短縮され、平成29年10月から年金が受給できるということであるが、対象となる方への対応は。

健康増進課長 今回の改正により、新たに高齢基礎年金などの受給権が発生する方に対し、平成29年2月末から7月にかけて、日本年金機構から年金請求書を順次送る予定である。年金の加入期間が10年に満たない方に対しても、送付時期等は未定であるが、個別にお知らせを送るようになっていく。

前川 本市の対応としては、広報こまつしまや市のホームページ等を活用し、制度の周知を図っていく。

前川 生活保護受給者で対象となる方への対応は。

生活福祉課長 新たに46人が対象となり、今後、受給手続をしていく必要がある。

前川 10年間の加入期間で国民年金の保険料をすべて納めた場合は、年間で約19万円程度の年金が支払われると聞いている。対象となる方、全てが受給できるように要望する。

**障がい者への
支援について**

前川 法律の名称が障害者総合支援法と改められた平成25年からは、難病患者等に対しても、障害福祉サービスの提供が可能になったことに加え、地域生活支援事業の充実を図ることなどが求められている。市が果たすべき役割はさらに大きく、かつ重要なものになってきていると考えるが、平成25年以降、どのような取り組みをしてきたのか。

介護福祉課長 平成25年度から3年間は、理解促

和田島大手海岸の 防災・減災対策は

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 県と連携し防災・減災対策
の推進に努める



吉見 南海トラフ巨大地震の発生確率は30年以内に70%とその確率は年々高くなっている。和田島大手海岸の防災・減災対策は。

答 県と連携し防災・減災対策の推進に努める。

**ICTを活用し
市民参加型の
都市を**



和田島大手海岸の堤防補強工事

産業建設部長 4基目となる大規模突堤の整備が進められており、和田島町字外開地先では陸側の堤防補強工事に着手し

吉見 多様化、高度化する市民ニーズに対応するためには、市民共働による取り組みが必要不可欠である。スマートフォンを活用し、市民からの意見を収集しては。

秘書政策課長 情報の迅速性や双方向性といった観点から、地域での問題を市民共働で解決していく点において効果的な手法の1つと考えている。有効な仕組みづくりについて研究していきたい。

**性同一性障害、
LGBTIQ
への取り組み**

吉見 小松島市人権問題講演会で性的違和の当事者である講師からの講演を受け、衝撃と感銘を受けた。本市のLGBTIQへの取り組みは。

人権推進課長 講演会では、まず知ってもらうことが重要であるとの講師の助言があった。本市としても、一人一人の個性や違いを認め合い、誰もが生きがいを持てる社会の実現に向け、研修や講演会、広報誌などの機会を通じて職員や市民に周知し啓発の推進に努め

進研修・啓発事業として、プレイバックシアターの上演を実施し、平成28年度は障がい者の作業所巡りバスツアーを実施する等、障がい者への理解の促進に努めている。今後も、事業内容の充実に取り組んでいきたい。

前 平成28年4月から、障がい者差別解消法が施行されている。

本市においても、障がい者に対する理解がさらに深められるような取り組みを進めていただきたい。



広域ごみ処理施設建設候補地を再度協議できないか

大互クラブ 高木 幸次 議員

答 現候補地への立地で協議を進めていきたい



高木 候補地が徳島市に決まった経緯は。

市民生活課長 3つの視点で評価を行い、比較検討した結果を各首長で協議し、決定された。

高木 勝浦川下流、市水道局の水道水に影響は。

市民生活課長 プラント排水は、外部に流さず再

利用するシステムの検討がされると考える。

水道部長 本市の水道水は深さ30メートルの井戸から地下水を汲み上げており、直接影響を与えようような開発はないと考える。

高木 何かあった場合の責任はとれるのか。

政策監 そういうことが起きないよう、関係市町村に対応していく。

高木 施設を海岸沿いまで持ってくるという方向で考え直すべきでは。

政策監 海岸沿いへの建設は津波等への対応も考えた上での判断である。

る。

食品ロス対策に30・10運動を

吉見 食品ロス削減対策の一つに、宴会開始後30分間と終了前10分間は席に座って料理を食べる運動があるが、市の食品ロ

スへの取り組みは。

秘書政策課長 食品ロス削減への試みの一つとして認識している。環境部門との調整を行い、食品ロス対策、ごみ減量化に向けた普及啓発の一環としてホームページ等での周知などを検討する。



高木 徳島市と再度協議して、下流で施設整備ができないか。

市長 現候補地への立地で協議を進めていきたいと考えている。

農業振興への取り組み

高木 新規就農及び担い手育成への取り組みは。

産業振興課長 新規就農の支援施策として「青年就農給付金制度」、「青年等就農資金制度」、「就農定住支援事業」、担い手の支援策として「経営体



今後の人口減少を見据えての市町村合併を検討しては

高木 平成27年国勢調査では、人口が4万人を割り込み、税収確保が困難と考えられる中で、5年後、10年後の財政見通しは。

財政課長 当面は人口減少により市税や地方交付税等の収入は減少基調で推移すると考えられる。

高木 国立社会保障人口問題研究所による人口推計では、2060年には2万814人になるとされており、行政の運営もますます厳しくなっていくと考えられるが、今後、近隣市町村との合併を検討する考えは。

市長 合併特例債等の有利な地方債や普通交付税の特例措置などの優遇措置も一部を除いて廃止されており、合併による財政・制度的なスケールメリットがなく、合併の考えはない。

小学校再編計画の進捗状況は

新風はなみずき 廣田 和三 議員

答

諸問題について
順次整理検討している



廣田 28年度における小
学校再編の進捗状況は。
教育政策課長 複数の小
学校を統合して新設する
という計画があるが、諸
問題について検討が必要
であり、現在、順次整理
検討中である。29年度以
降も検討を進め、小学校
再編に関する一定の方向
性を見出していきたい。

第6次総合 計画の施策は

廣田 小松島市第5次総
合計画で示された目標数
値達成率は。

秘書政策課長 小松島市
第5次総合計画の前期計

画策定時には目標数値は
設定していない。平成25
年度からの後期基本計画
から、学校の耐震化率や
がんの受診率など、10項
目の目標の数値は設定し
ている。各施策全般に及
ぶ生活指標としては、十
分でなかったと認識して
いる。

廣田 小松島市第5次総
合計画の相対的な総括よ
りも、各分野の反省点を
精査した上で、第6次総
合計画にどのように反映
させるのか。

秘書政策課長 施策の進
捗状況の把握のため、3
年間の経過期間に加え、
毎年度の検証、見直しを

小松島市の 農業振興について

廣田 生産者の減少、離
農、農産物価格の低迷が
続く中、これからの小松
島市の農業振興をどのよ
うな形で将来もつていく
のか。

産業振興課長 有機農産
物の特別栽培米、「命は
ぐくむ田んぼ米」など
のブランド米は独自の販
売ルート開拓により、有
利な価格で販売できるよ
うになった。また、多様

開発許可の権限移譲を

創生クラブ 松下 大生 議員

答

課題の解消に向け、
引き続き研究を重ねたい



松下 現在、徳島県の各
自治体のうち、つるぎ町、
徳島市、阿南市が開発許
可に関する事務の全部を
県より権限移譲を受けて
いる。開発許可の権限移
譲を受け、規制緩和をす
る条例を制定すれば、自
治体独自のまちづくりが
できる。また、市におい
て緩和する場所は緩和し
て、調整区域の持つ役割
を担っていくようなこと
ろはしっかりと規制する
施策をとる必要があると
考える。本市は、この開
発許可の権限を受けてい
ないが、これまでどのよ
うな経緯となっているの
か。

都市整備課長 県内で
は、3つの自治体が開発
許可の権限移譲を受けて
いる。都市計画区域を有
する他の多くの自治体同
様、本市においては、こ
れまで開発許可の事務に
対応する専門職の育成配
置や財政的困難等を背景
に、開発行為に係る事務
の権限移譲を受けられて
いないのが現状である。

避難施設整備を

る人材の育成確保、さら
には財政等、権限移譲を
受けるための解消すべき
課題と認識しており、こ
れらの課題の解消に向け
た取り組みについて、引
き続き研究を重ねたい。

松下 権限移譲について
今後、組織面また人材面、
財政面も含め、本市にお
いてはどのように考えて
いるのか。

産業建設部長 全庁的な
組織体制の検討、あるい
は専門知識、資格を有す

松下 避難困難地域の金
磯町、横須町の一部は、
緑の基本計画において
も、防災レクリエーショ
ン施設または公園緑地等
の整備検討地域となっ
ていることから、市の財源
だけでなく、国の補助金
など活用できるものを精
査し、早期に防災機能を

化する消費者のニーズに合わせた米の生産販売支援、大都市圏での商談会や物産展に積極的に参加し、販路開拓を行っている。6次産業支援事業で市内の農林水産物の商品開発の支援をさらに拡大したい。

廣田 小松島市の農業基盤整備事業は。

産業振興課長 国の多面的機能支払交付金事業を積極的に活用し、農地や水路の維持、施設の長寿命化対策等に取り組む。



大林地区 ほ場整備

新公会計制度の進捗状況は

やまももクラブ **北野 恒男 議員**

答 本年度末までにシステムを導入する



北野 システムの構築にかかる導入費用は。

財政課長 固定資産台帳の整備に、27、28年度の2カ年で1077万8400円。システム導入費用に、652万5000円を計上している。

北野 今後、市の行財政運営に、どのように活用するのか。

政策監 統一的な基準に

よる財務書類等が作成されることにより、地方公共団体間での比較が可能となり、予算編成や行政評価等へ活用できる。また、公共施設等の減価償却累計額の割合を算出することで、市の資産の老朽化度の把握が可能となり、老朽化対策の優先順位を検討する参考資料にもなる。

広域ごみ処理施設 今後の整備計画は

北野 候補地決定後の整備計画は。

市民生活課長 地元合意後、環境影響評価等を経て、6年から9年目に設計・工事等を行い、稼働を想定している。今後、詳しく協議していく。

備えた公園を整備すべきだと考えるが。

まちづくり推進課長 今後の金磯地区、横須地区も含め、公園施設等の整備については、社会構造の変化への対応が求められていることや財政的な制約等もあるが、緑の基

水道事業について

北野 耐震化の進捗状況は。

水道部参事 平成24年度から進めている老朽管更新事業で、約17キロメートルを耐震管に敷設替、総延長261キロメートルのうち、32.5キロメートルを耐震、耐震化率は12.5%である。

北野 水道料金の改定の考えは。

水道部長 小松島市水道事業経営等審議会において、一定程度の値上げはやむを得ないとの意見が示されていることから、水道料金の条例の改定を念頭に、作業を進めていく。

本計画に掲げた方針と金磯地区基本計画との整合を図り、整備に当たっての課題の抽出、検討を行う必要があると考えている。

スポーツ振興について

北野 スポーツ振興への取り組み状況は。

生涯学習課長 市体育大会・駅伝大会・なわとび大会・クロスカントリ大会等の支援、スポーツの環境づくり等の周知を図っている。

北野 ランニング人口の



和田津橋水管橋耐震化工事

拡大、利便性の向上のため、更衣室やロッカーを備えた簡単なランニングステーションを設置しては。

生涯学習課長 他市の状況を鑑みながら、スポーツ振興の一環として研究していく。



第38回 小松島市民駅伝

議員の賛否表（平成 28 年 12 月定例会議）

| 議案等 | | 議員名（議席番号順） | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|
| | | 松 下 大 生 | 四 宮 祐 司 | 高 木 幸 次 | 米 崎 賢 治 | 池 淵 彰 | 片 田 真 弓 | 杉 本 勝 | 前 川 英 貴 | 廣 田 和 三 | 北 野 恒 男 | 吉 見 勝 之 | 武 田 清 | 出 口 憲 二 郎 | 安 平 剛 之 | 佐 野 善 作 | 宮 崎 欽 司 |
| 第81号 | 平成28年度小松島市一般会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第82号 | 平成28年度小松島市競輪事業特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第83号 | 平成28年度小松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第84号 | 平成28年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第85号 | 平成28年度小松島市介護保険特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第86号 | 平成28年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第87号 | 小松島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第88号 | 小松島市長、副市長及び教育長の給与条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第89号 | 小松島市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第90号 | 小松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第91号 | 小松島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第92号 | 小松島市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第93号 | 小松島市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第94号 | 特別職の職員等で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第95号 | 小松島市子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第96号 | 小松島市農業委員会の委員及び小松島市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第97号 | 小松島市農業委員会の選挙による委員の定数条例等を廃止する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第98号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第99号 | 教育委員会委員任命の同意について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第100号 | 教育委員会委員任命の同意について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議提第5号 | 地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情第3号 | 地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情について | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 陳情第4号※ | 年金減額のしくみ「マクロ経済スライド」の廃止を求める意見書の採択に関する陳情について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情第5号※ | 最低保障年金制度の実現を国に求める意見書の採択に関する陳情について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※陳情第4号、陳情第5号については、委員長報告（不採択）に対する賛否
○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（井村保裕）は、採決には加わりません。

委員会視察報告

議会改革特別委員会

◎視察先 愛知県知多市／日進市

◎視察日 平成28年11月15日(火)

～16日(水)

出席者

委員長 安平剛之

副委員長 池淵 彰

委員 出口憲二郎 高木幸次

吉見勝之 米崎賢治

四宮祐司 松下大生

杉本 勝 廣田和三

議員 井村保裕

目的

本市の議員報酬及び費用弁償等に関する条例には、欠席・懲罰議員に対する議員報酬の取り扱いに関する規定がなく、条例制定に向けて、調査・研究を行うため、条例制定をしている愛知県日進市(平成26年条例制定)、愛知県知多市(平成27年条例制定)において視察調査を行った。

視察概要

条例制定の経緯や背景については、県内他市において議員が逮捕され、長期間議会に出席できなかった等の事案があった。「長期欠席により議員活動ができないにもかかわらず報酬が支払われることは、市民感情を考えると受け入れ難いのではないか。」との議員からの意見があり、条例制定の運びとなった。また、制定に至るまでの協議や、実際の運用等について詳細な説明を受けた。

文教厚生常任委員会

◎視察先 岸和田市貝塚市クリーン

センター／豊中市伊丹市ク

リーンランド

◎視察日 平成29年1月12日(木)

～13日(金)

出席者

委員長 米崎賢治

副委員長 四宮祐司

委員 宮崎欽司 佐野善作 武田 清

北野恒男 高木幸次 杉本 勝

片田真弓 廣田和三 松下大生

議員 井村保裕

目的

ごみ焼却施設の広域連合での取り組みを見据え、先進的かつ広域連合で取り組まれている2施設において視察調査を行った。

視察概要

両施設とも国の基準より厳しい独自基準を設け、周辺環境に対して十分に配慮された設備であった。また、リサイクルセンターを併設しており、リデュース(減量)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再利用)などの啓発活動を行っていた。特に、施設への理解や信頼を得るため、施設稼働後も年に1度は地元への説明会の実施や、見学を前提とした施設設計により、小学生の社会科見学に活用してもらうなど、施設の管理運営に対する透明性の確保やごみ減量への啓発活動を兼ねた取り組みが行われていた。



豊中市伊丹市クリーンランド施設模型

意見書

1件を関係大臣に送付しました

◎地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書



大募集!!

「議会だより」表紙写真

次号より議会だよりの表紙に掲載する写真を募集します。
みなさまの応募をお待ちしています。

- 【テーマ】「2017年5月5日発行の議会だより表紙にふさわしい、とっておきのコマ」
- 【応募資格】市内在住・在勤・在学の方
- 【応募方法】応募用紙に必要事項をご記入の上、写真(A4版)とデジタルデータを添え、市役所2階議会事務局までご提出ください。なお、ご提出いただきました写真および記録媒体は返却いたしません。デジタルデータはCD-R等にコピーしてご提出ください。
応募用紙は議会事務局にございます。または議会ホームページからダウンロードしてください。
- 【応募規定】応募作品については本人が撮影した未発表のものに限ります。被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上でご応募ください。
応募者多数の場合は広報委員会で掲載作品を1枚選定します。なお、応募写真の著作権は市議会に帰属し、ご提出いただきました作品は返却いたしません。選考結果の報告はいたしませんので、ご了承ください。
- 【応募締切】4月10日(月)必着
- 【その他】ご応募いただいた作品について、市役所での展示を計画中です。
- 【応募先】〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局 宛 ☎ 32-1359

発行／小松島市議会 議長 井村保裕

ふれあい市議会コンサート出演者募集!

議場の耐震工事完了に伴い、3月定例会議より
ふれあい市議会コンサートを再開いたします。

出演のお問い合わせは、小松島市議会事務局まで ☎ 32-1359



徳島駅伝 女子区間 (小松島市再スタート)



消防出初式 祝賀放水

編集／議会広報特別委員会 委員長 出口憲二郎

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|------|-----|---|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | |
| 松 | 四 | 廣 | 片 | 吉 | 佐 | 前 | 出 |
| 下 | 宮 | 田 | 田 | 見 | 野 | 川 | 口 |
| 大 | 祐 | 和 | 真 | 勝 | 善 | 英 | 憲 |
| 生 | 司 | 三 | 弓 | 之 | 作 | 貴 | 二 |

編集委員

編集委員 佐野善作

徳島駅伝総合第三位(銅メダル獲得)と小松島市にとって、さい先のよい新年のスタートとなりました。

濱田市長も再選されました。本市には、防災・減災対策、高齢化、少子化、市活性化等、問題が山積みとなっており、議会として、厳しく行政をチェックするとともに、政策提言を積極的に行い、市民生活の向上のために頑張る決意をいたしております。

本年も議会だよりを通じて、議会情報を皆さまに詳しくお伝えいたします。

編集後記